

Ⅶ サインの計画

サインは文字・図・記号等によって施設の内容やそれらの構成を明確にし、人々の活動や行動を円滑にする情報伝達手段の一つであり、国内外に開かれた大学づくりに極めて重要である。本学のキャンパスは広大で複雑な空間構成を持ち、分かりやすいキャンパスづくりに適切なサインは欠かせない。

また、機能面のみならずサイン自体の形状・色彩・素材あるいは文字・図・記号等に統一性やデザイン性を持たせることによって、豊かなキャンパス環境や建物空間を構成する重要な要素となる。

サインの計画にあたっては、既存のサインを生かしながら、必要な見直しを行うとともに、次の基本方針により推進する。

(教育と研究の国際化を支えるサイン)

1. 教育と研究の国際化を支えるために、サイン表示は複数言語(日本語、英語)化を促進する。

(キャンパスの入口の明確化)

2. 出入口を明確にすることは来訪者のアクセスを容易にする。市街地の誘導標識を充実するとともに、入口を示す大型のサインあるいはモニュメンタルな造形物を配する。

(外来駐車場・バス停の案内拠点化)

3. 外来駐車場と学内駐車場を区分し、それを顕在化し案内の起点とする。そのため駐車場の識別サインと周辺地区の案内図を整備する。公共交通機関利用者の起点はバス停である。ここにも外来駐車場に準じたものを設ける。

(方向系サインの整備)

4. 来訪者に対しては、駐車場・バス停と各建物群の案内所(事務室等)を結ぶ動線上に方向系サインを整備する。また、ペデには学生・教職員等の移動を支援する方向系サインを整備する。小規模のものとし変更・修正に対処する。

(識別系サインの整備)

5. 主要な道路及び道路の結節点に位置を識別するサイン、建物の入口付近の見やすい位置に統一したデザインのサインを整備し、来訪者及び学生・教職員双方の利便性を高める。また、同種の大型サインをループ道路から読める位置に適宜設置する。奥まった施設にはループ道路からそこへ通じる道路の入口に大型のサインを設置する。

大型識別サインは多分にイメージ的存在である。来訪者、学生・教職員を問わずキャンパス内の様子が外から分かるようにすることが目的である。ループ道路を一周すると大学の全体像がほぼ掴めるように整備する。

(建物内部のサインシステム)

6. 建物内部のサインシステムは屋外のサインに次いで重要である。特に構造が複雑な第二エリア・第三エリアの学群等は、大学会館のサイン計画をベースに充実を図る。

(障がい者のためのサイン)

7. バス停・アプローチ・建物入り口及び建物内に整備する。

サインの計画

色彩ガイドライン

【計画主旨】

- 1: 筑波大学キャンパスは春日キャンパスを含めて5つの地区に分け、下記のように地区色をそれぞれに定める。
- 2: 各地区内は 下記のようにエリア色をそれぞれに定める。
- 3: 背景色 (緑地含む) は地区色とする。
- 4: 建物にはシャドウ (K) をつけ、仕様は下記とする。

モード: マルチプライ Opacity: 75% OffsetX: 2.47mm OffsetY: 2.47mm
 ブラー: 1.76mm ダークネス: 50%

北地区色

- ベースカラー: M10 : Y65 : K25 (イエローオーカー)
- エリアA: C50 : M20 : Y20 (青)
 - エリアB: C40 : Y75 (緑)
 - エリアC: M30 : Y40 : K20 (茶)

中地区色

- ベースカラー: C50 : M20 : Y20 (青)
- エリアA: C20 : M30 : Y30 (肌色)
 - エリアB: C20 : M20 : Y60 : K12 (黄灰)
 - エリアC: C40 : M20 : Y20 (青)
 - エリアD: K30 (グレー)

南地区色

- ベースカラー: C10 : M31 : Y31 : K11 (赤系)
- エリアA: C47 : M03 : Y01 : K25 (青)
 - エリアB: C33 : M56 : Y25 : K06 (紫)
 - エリアC: C30 : Y30 : K31 (緑)

西地区色

- ベースカラー: C45 : M15 : Y45 : K10 (緑)
- エリアA: C60 : Y22 (青緑)
 - エリアB: C40 : M20 (青)
 - エリアC: C50 : Y50 : K10 (緑)

春日地区色

- ベースカラー: C13 : M13 : Y24 : K08
- エリアA: C67 : M51 (紫)
 - エリアB: C1.96 : M40.78 : Y49.8 : K0.39 (赤系)

その他全学的に共通の色彩

図書館等案内上必要な建物:
 C2.75 : M19.61 : Y0.39 (ピンク)

センター等の建物: K30 (灰色)

ペDESTリアン: C10 : M10 : Y40

池・水路等: C60

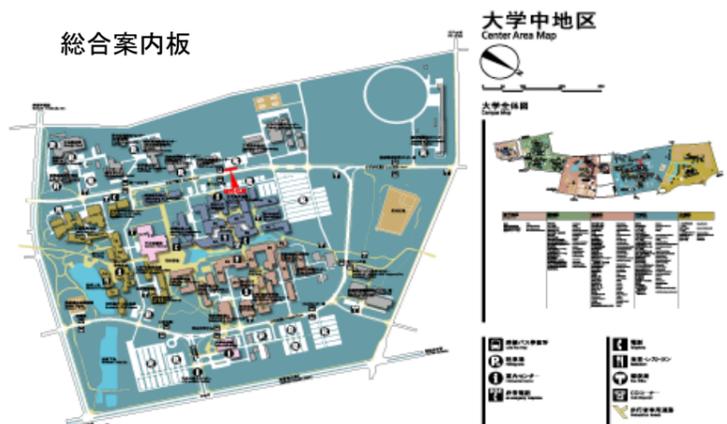
現在地: M100 : Y100赤

各種ビクト: 地/B100 図/白

駐車場・道路: 白

運動場・テニスコート: M15 : Y40 : K20 (黄土色)

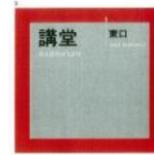
輪郭線: K100



サインシステム [建物外部] - 識別系サイン

◆建物名表示1

既設スタンダードフレームを利用し、表示面を取り替える。
 情報面はユニットの展開サイズ600×600とし、周辺はゾーンカラーで囲み、現状イメージを踏襲する。



◆建物名表示2

建物外壁面に設置するサインは下記の仕様により必要な箇所に設置する。
 書体 フルティガー55
 寸法 1文字当たりW650×H900程度
 壁面より文字表面まで70mm
 材質 アルミ製厚10mm 切り文字
 仕上 両面フッ素樹脂塗装 (焼付け 白色)



サインシステム [建物内部] - 案内系サイン

◆建物名表示

建物全体の施設案内とフロア平面図を配し、現在位置を明示する。また、案内の説明を求めたい場合を考慮し、ゾーンの警備員室や支援室等のインフォメーション可能な場所も併せて明示する。



サインシステム [建物外部] - 識別系サイン

◆建物名表示3

建物外壁入口付近にパネルを配置し、サインの情報面とする。パネル職は設置壁面と違和感のない金属の素材色とする。



サインシステム [建物内部] - 方向系サイン

◆建物名・室名表示

サインの存在が容易に見いだせる形式とし、情報の基本は文字表示とするがサービス施設についてはビクトサインとする。
 また、赤色のラインをアクセントとし注目性を持たせる。



サインシステム [建物内部] - 識別系サイン

◆室名等表示

下記による。

